

## 第4回 リニア環境未来都市検討委員会 次第

日時：平成28年5月24日（火）

15：00～

場所：ホテル談露館 1F アンバー

1 開会

2 議事

(1) リニア環境未来都市の検討について

- ・ 駅周辺の整備について
- ・ 駅近郊の在り方について

3 その他

4 閉会

【 リニア駅周辺 】

リニア環境未来都市の基本的な考え方		検討委員会	期成同盟会 活用策検討部会 等
観光交流施設	<p>観光客などの他、定住促進の視点から、近郊住民をはじめ広く県民にも魅力的な施設を整備</p> <p>&lt; 配置 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「まちなみ」のような連続性のある空間を重視。その外側に公園施設が囲む形式</li> </ul> <p>&lt; 整備内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合案内コーナーや、本県の特産品を販売するショップ、レストラン・カフェ、生活を豊かにする商品を販売するショップ、イベントホール、展望デッキ 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベビーカーや車いすなどの家族連れの利用者などのことを考えると、一体型の方が良い。</li> <li>・従来の施設を超えるような魅力的なコンテンツや小規模でも日本初のものを作ってほしい。</li> <li>・雨に濡れず施設に入れるよう、公共交通エリアに被っても良いのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の清里、富士山など各地へ誘導する何か仕掛けを考えて欲しい。</li> <li>・リニア駅を拠点として回遊性を持たせる仕組みも大切。</li> </ul>
公園施設	<p>山梨らしさをアピールする駅前空間であるとともに、リニアやスマートインターチェンジの利用者、住民などにとって、交流、憩い・リフレッシュ、安心の場となる公園施設を整備</p> <p>&lt; 施設の内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山梨の魅力(緑・水・太陽)を満喫できる空間</li> <li>・住民などが憩いやリフレッシュする空間</li> <li>・地域の安全・安心の空間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きなぶどう畑を設けるなど、フルーツ・フラワーを生かすことが重要である。</li> <li>・最初は南北方向にちよろちよろ流れ出て、最終的に深い調整池に貯まるようにしてはどうか。上流では水質を調整して子供が遊べる空間にしてみるのも面白い。</li> <li>・周辺地域を対象地とした十分な容量のある調整池を検討してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前についてももう少し山梨らしさを出していくためには、山梨を「山の都」と印象づける必要があるため、樹木などの緑が重要な要素となる。</li> </ul>
交通施設	<p>スマートインターチェンジとリニア駅の直結を生かし、リニア駅と県内各地を結ぶアクセス強化</p> <p>&lt; 施設の内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅北側は、一般交通を対象としたパーク&amp;ライド駐車場や駅前広場を整備</li> <li>・駅南側は、公共交通を対象とした駅前広場を整備</li> <li>・電気自動車や燃料電池自動車のための充電スタンドを整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通結節の役割を十分に果たし、防災機能にも配慮したキャパシティのある駐車場が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リニア駅で一服するのではなく、着いたら早く甲府の中心へ移動できるように整備すべき。</li> <li>・駐車場は十分用意して欲しい。</li> <li>・スマートインターチェンジと直結するということで、ハブ機能を持つ駅にしたい。</li> </ul>
産業振興施設	<p>リニア駅近郊において未来のものづくりをリードする戦略拠点を形成するため、リニア駅周辺は、集積の呼び水となる施設や、本県の産業集積の情報発信を図るための施設を整備</p> <p>&lt; 施設の内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インキュベーションセンターや、近郊に集積する関連企業と連携する研究センター、イベント広場を整備</li> </ul> <p>( )参考：駅近郊に集積を促進する分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康長寿 ・燃料電池 ・リニア・超電導</li> <li>・IoT &amp; Industrie 4.0 ・自動運転</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業支援施設を作る際、進出・共同化する可能性のある企業をピックアップし、企業がこの拠点で何をしたいのか戦略を重ね合わせていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口対策のための仕掛けづくりとして、例えば研究開発施設などの誘致を進めるべき。</li> </ul>

【リニア駅近郊】

リニア環境未来都市の基本的な考え方		検討委員会	期成同盟会 活用策検討部会 等
近郊の範囲	<p>日常生活や行動の範囲を考慮し、リニア駅から4km程度</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リニア環境未来都市の範囲として半径4km程度が妥当である。現段階では、開発の方向性やパターンを示すほうが良い。</li> <li>・徒歩圏では住宅・商業施設の立地が考えられる。乱開発にならないよう、きちんとしたまちづくりや土地利用をコントロールしなければならない。</li> <li>・市街化調整区域の市街化区域への編入はハードルが高い。個々に地区計画をかけていくのが現実的。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リニア環境未来都市の範囲として半径4km程度としているが、県内各地域における活性化についても検討すべきである。</li> </ul>
目指すべき姿	<p>定住</p> <p>新たなライフスタイルが展開する場所</p> <p>&lt;整備の取り組み&gt; 定住人口の増加を目指し、県外からの移住促進に取り組んでいく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏・中京圏の人が、土日に自然に恵まれたところで生活したいというニーズに応えるためには、自然の残る居住地域が必要。</li> <li>・リニア駅から甲府駅までスムーズに乗り換えできるようになると良い。</li> <li>・保育施設等を充実させれば、共働きの子育て世代が、移住するきっかけになるのではないかと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定住を促進するための支援策について検討すべき。</li> </ul>
	<p>産業</p> <p>未来のものづくりをリードする戦略拠点を形成する場所</p> <p>&lt;整備の取り組み&gt; リニア効果を生かし産業の振興を図っていくため、県外からの企業誘致や新たな産業と関連産業の集積に取り組んでいく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業集積のコンセプトとして“健康長寿”、“燃料電池”、“リニア・超電導”、“IoT&amp;Industrie4.0”、“自動運転”を挙げていて、実現すれば素晴らしい。</li> <li>・駅から近い場所は、一般論からすれば量産型工場ではなく、R&amp;Dや若い人に向けたベンチャー企業等が立地するのではないかと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の工業団地とリニア駅を繋ぐことが大事。</li> <li>・リニア環境未来都市(半径4km程度)の外側についても農業振興地域整備等、土地利用規制を緩め、産業誘致を進めるべき。</li> <li>・集積促進分野として“健康長寿”、“燃料電池”、“リニア・超電導”、“IoT&amp;Industrie4.0”、“自動運転”を挙げているが、もっと産業分野を絞り込むべき。</li> <li>・企業誘致を促進する支援策について検討すべき。</li> </ul>
	<p>エネルギー</p> <p>災害に強く環境に優しいエネルギー自立度の高い場所</p> <p>&lt;整備の取り組み&gt; 自立・分散型エネルギーを備えた災害に強く環境に優しい地域づくりのため、本県の特性を生かしたエネルギー源の多様・多層な活用などエネルギー利用の最適化などに取り組んでいく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有事の際の危機管理能力を高め、出来るだけ自立・分散型エネルギーシステムを目指すということが非常に大事。</li> <li>・山梨の産業振興を視野に入れ、スマート化や燃料電池、次世代自動車などによる低炭素社会を目指すべきである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生可能エネルギーを最大利用しネット・ゼロ・タウンを実現すべき。</li> <li>・省エネ建築物・ゼロエネ建築の普及支援すべき。</li> </ul>
	<p>景観</p> <p>魅力的なまちなみ景観が展開する場所</p> <p>&lt;整備の取り組み&gt; 豊かな自然環境と調和した景観を本県の強みとして生かしていくため、山梨らしい魅力的な景観の形成に取り組んでいく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山に囲まれた盆地の特徴である山岳景観の魅力を生かすことが大切。</li> <li>・高層の建物が造れないような規制が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工業団地周辺にも木を植えて緑を増やすべき。</li> <li>・環境に優しいエリアを造るべき。</li> </ul>
	<p>観光・交流</p> <p>様々な交流が展開する場所</p> <p>&lt;整備の取り組み&gt; 本県の観光資源を生かし、リニアを活用し国内外との交流の拡大を図っていくため、全県的な観光戦略の中で、駅周辺においては、リニア利用者に加え県民などが集まる交流の場を形成し賑わいの創出に取り組んでいく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホテルが観光振興の大きな要素を占めるようになってくるので、人材を育成し、他県とは違ったホスピタリティを展開してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際Aマッチができる球技場、コンベンションホール等を造り、それを目的とする人を呼び込むべき。</li> </ul>

# リニア駅周辺の整備

## 各施設の整備内容

**[交通結節機能]**  
 全国初の高速道路と新幹線を直結する交通結節機能  
 駅北側は、一般交通（自家用車）を対象とした駅前広場やパーク＆ライド用駐車場など  
 駅南側は、公共交通（バス、タクシー）を対象とした駅前広場など  
 電気自動車や燃料電池自動車のための充電スタンド・燃料ステーションなど



**[観光・交流機能]**  
 次の内容を備えた観光交流施設を整備  
 県内各地の観光、イベント、宿泊などの総合案内コーナー  
 宿泊、イベントチケット等の予約をワンストップで提供する各種予約コーナー  
 本県の特産品やこだわりの商品などを扱うショップ  
 展望デッキ  
 県産食材使用のレストラン・カフェ  
 多様な催しが開催できるイベントホール



縮尺：任意

この表示はイメージ図です。  
 具体的な位置や形状等については今後検討してまいります。

**[憩い・交流機能]**  
 次の内容を備えた公園施設を整備  
 フルーツ、フラワーなどを生かした緑化や水辺など緑と水と太陽を満喫できる空間  
 住民などが快適で健康に過ごせる憩いやリフレッシュする空間  
 地域の安全・安心のため災害時の避難場所として活用できる空間

**[産業振興機能]**  
 起業を誘導するためのインキュベーションセンターや近郊に集積する関連企業と連携する研究センターなどを整備  
 隣接するアイメッセなどと連携するとともに、情報発信を行う場としてイベント広場を整備

## 【 リニア駅近郊の姿 】



### リニア駅近郊の目指す姿

近郊は、県産材を活用した住居が整備され、リニア通勤者などの移住・定住が進み、地域資源を生かしたエネルギーの最適利用を図るほか、本県のものづくり産業の集積の強みを生かした未来のものづくりをリードする拠点を形成するなど、山梨らしさを魅力として発信する場所を目指す  
リニア通勤者の住宅や進出企業の施設、各種のサービスを提供する業務施設や日用品などを販売する商業施設、また、リニアを活用した交流施設などについて、地域特性を生かしながら立地を誘発

### 新たなライフスタイルが展開する場所

環境にやさしい住環境の中、大都市圏とリニア環境未来都市を行き来するライフスタイルを実現  
リニア駅徒歩圏にリニア通勤者などの住宅が、既存の企業等と連携して立地する進出企業の事業地の近くに従業員の住宅、豊かな自然環境が身近なところに二地域居住者の住宅が展開

### 未来のものづくりをリードする戦略拠点を形成する場所

健康寿命延伸、燃料電池分野などの産業、官民の研究施設が立地、周辺には関連産業の事業所などが集積  
企業間の交流や産学官の連携により、起業家の育成や活発な産業交流が展開  
首都圏の企業の本社機能やIT企業のサテライトオフィス等のバックアップ機能が立地  
信頼性・利便性の高い高速大容量通信及び事業継続計画(BCP)を支える情報通信基盤が整備され、様々な企業が立地

### 災害に強く環境に優しいエネルギー自立度の高い場所

多様な地産エネルギーを最大限に活用し、事業継続計画(BCP)に対応した自立・分散型エネルギーシステムの導入が進展  
地域へのエネルギー管理システム(EMS)導入により、効率的なエネルギー利用を実現  
省エネ性能に優れたスマートハウスや次世代自動車が普及し、環境にやさしい生活が実現

### 魅力的なまちなみ景観が展開する場所

山なみ、水辺などの自然景観や果樹園、田園などの農業景観と調和し、県産材を使用した建物や豊かな緑などによる統一感のある、山梨らしさが感じられる美しいまちなみ

### 様々な交流が展開する場所

リニア駅周辺とともに、各地の観光地など、様々な目的で来県された方々が交流する拠点が形成  
総合球技場で開催されるスポーツイベントを通じた多様な交流の展開

# 駅周辺の方向性を検討 するための事例紹介

## パターン1

建物に機能性(災害時の避難場所、断熱性の向上など)を持たせるとともに、広場や公園と連続した緑の一体的な駅前空間

## イメージ



光が丘公園 出典:公益財団法人東京都公園協会HP <https://www.tokyo-park.or.jp/profile/>



オークランド博物館(カリフォルニア州)(立体型公園イメージ)

出典: <https://www.pinterest.com/pin/268527196504508186/>

出典:

<http://archinect.com/features/article/128118195/the-forever-unfinished-business-curated-thoughts-from-our-conversation-with-kevin-roche/>



福岡、アジア、そして世界の人々が集う  
芸術文化、情報の交流拠点

アクロス福岡(屋上緑化)

出典:アクロス福岡HP(提供:天神経済新聞)  
<http://www.acros.or.jp/about/>



ラ コリーナ近江八幡(屋根緑化)

出典:たねやHP: [http://taneya.jp/la\\_collina/](http://taneya.jp/la_collina/)

## パターン2

建物を強調するとともに、開放的な広場を提供する駅前空間

## イメージ



出典：日経アーキテクチャ <http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20121128/593490/>



東京駅

出典：GO TOKYO 東京駅丸の内駅舎  
[http://www.gotokyo.org/jp/tourists/topics\\_event/topics/120918/topics.html](http://www.gotokyo.org/jp/tourists/topics_event/topics/120918/topics.html)



トヨタ車体(株)開発センター

出典：トヨタ車体(株) [http://www.tkbc.jp/35\\_1p\\_sen\\_toyotasya.html](http://www.tkbc.jp/35_1p_sen_toyotasya.html)



山梨県立図書館



### パターン3

低層化した建物を連続して配置するとともに、広場と公園との一体的な駅前空間

### イメージ



RESORT OUTLETS YATSUGATAKE

出典：<http://www.yatsugatake-outlet.com/index2.php>



信州塩尻農業公園 チロルの森

出典：(株)地球の歩き方T&E、(株)ダイヤモンド・ビッグ社



あさぎりフードパーク

出典：<http://www.asagiri-fp.com/wp/>